

サンセイランディック関西便り Vol.77

平成30年9月号

サンセイ ニュース

いよいよ9月に突入致しました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。9月の旧暦は「長月」でございますが、その名の由来として最も有力な説は「夜長月」で、夜がだんだんと長くなるからだそうです。つまり秋を感じ始める時期ということですが、近年は気温の急激な変化により夏冬が長く、春秋がとても短く感じられます。特にこの時期は季節の変わり目でもあり、日中の寒暖差や毎日の気温の変化に体がついていけなくなることも多いでしょう。くれぐれも体調にはお気を付けてお過ごしください。

さて、今回は古アパートを経営される大家さんのお悩みをテーマにお話ししようと思います。大家さんの懸念の一つは何と言っても入居率の減少です。建物の老朽化によりメンテナンス費がかさむ中、減っていく収入の中でそれを賄わなければなりません。また近年、地震や豪雨などの自然災害が増加していることもあり、修繕費を賄いきれない現状もあるのではないのでしょうか。建物を建て替えようにも入居者様を退去させるには、転居費用の確保や交渉時のトラブル、裁判沙汰といったリスクを伴う可能性もございます。本来、貸主と借主は互いにwin-winの関係でなければなりません、その関係は時が経つにつれ維持できなくなっているようです。

そんなお困りの大家さんのためにサンセイランディックがごさいます。当社の居付き事業では利回りの低い物件を扱っており、上記のようなお悩みをお抱えの大家さんから建物を丸ごと購入し、自社で明渡し交渉から更地化までを行います。また、当社は東証一部上場という看板を背負っております。そのため入居者様に対してもご希望をできる限り尊重した、誠意のこもったご提案をさせて頂き、ご理解を頂いたうえでのご転居をお願いしております。皆様のご期待に添えられるよう尽力致しますので、今後ともよろしくお願い致します。また、今月から京都支店がオープン致しました。底地や居付きに関してご相談等ございましたら、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。詳しくは当社のホームページをご参照頂ければと存じます。

社員の 独り言

私の中で9月といえば、稲刈りの時期という印象がございます。ということで、いきなりですが皆さん、お米で有名な銘柄といえば？・・・そう、新潟県のコシヒカリです。私の祖父母は新潟県でお米を作る農家を営んでおり、私は毎年ゴールデンウィークには田植えの手伝いに駆り出されております。田圃は約50反程を3～5日で植え終えるのですが、これがまた重労働で初日は必ず全身筋肉痛に襲われます。稲刈りは9月、10月と時間をかけて行うため、田植え程ではありませんが稲の袋詰めもこれはまた重労働で、30kgの袋を何度も何度も運ばなければなりません。そして私の祖父は今年88歳ですが今も現役で働いており、毎日一反一反水を調節し、稲の発育を見守っております。

私は、日本人の食生活の土台となるお米の栽培を職業としている祖父をととても誇りに思いますし、私自身少しでもそれに携われていることに喜びを感じております。そのため皆さんがお米を噛みしめる度、農家の存在を感じて頂ければとても光栄です。

営業：萩



底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 関西支店

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1

あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階

TEL：06-4706-0040 FAX：06-4706-0045

京都支店

〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル

手洗水町659番地烏丸中央ビル5階

TEL：075-241-0188 FAX：075-241-0199



証券コード：3277

底地くん

